

## ■ ひろしま美術館、夜は劇場化



ひろしま美術館は閉館後の美術館を貸し切り、モネやゴッホ、セザンヌなどに扮したキュレーターが来場者に向けて新しいアート体験を提供する「HIROSHIMA NIGHT MUSEUM」を開催している。広島県のナイトタイムエコノミー推進の一環。同館と広島県観光連盟、富裕層向け文化体験プランの企画・運営を行うエクスペリサスが連携した。

地元広島の劇団員が西洋画家の作家に扮し、作者自身や友人の作品をストーリー仕立てで紹介する（写真）。監督で脚本家の一尾直樹氏が脚本を手掛け、同館の学芸員が監修した。双方向と演劇の要素を組み込んだ美術鑑賞が斬新だ。ひろしま美術館はフランス近代美術作品を多数所蔵しており、演劇の要素を加えたことで、参加者は印象派が活躍した19世紀後半にタイムスリップしたような没入感の下、美術を鑑賞する楽しみを創出した。

今後の開催は5月8・15日、6月5・26日。18時30分開演、20時終了。1回定員20人。1ドリンク付きで5250円。

## ■ 佐倉市、MaaS推進へ1日切符

千葉県佐倉市は市観光協会、京成電鉄グループと連携し、市内をスマートフォン1つでシームレスに移動できる「旅する佐倉1日きっぷ」を発売した。MaaS推進の取り組み。京成線各駅か

ら佐倉駅の往復乗車券、市内店舗の食事券・土産券、観光協会のレンタサイクルもしくはちばグリーンパスのフリー乗車券のいずれかのセットが3900円。スマホを利用できない人のために紙チケット（4070円）も発売する。

利用者は京成電鉄で佐倉を訪れ、バスやレンタサイクルを使って城下町である佐倉の歴史や印旛沼周辺の自然、食事・土産物をスマートフォン1つで楽しむことができる。旧堀田邸、佐倉武家屋敷など5カ所の観光施設で割引特典もある。当日限り有効。

## ■ 四国主要駅にサイクルピット



四国4県と四国ツーリズム創造機構で構成するサイクリングアイランド四国推進協議会は、四国内の主要駅に自転車組み立て・解体ができるスペース「サイクルピット」（写真）を整備した。四国旅客鉄道と連携した「サイクリングアイランド四国」の実現に向けた取り組みの一環。ピットにはサイクルラック、空気入れが設置され、窓口で工具を無料で貸し出すほか、今治・宇和島駅で実施していた輪行貸出しサービス（500円）も拡充した。

サイクルピットを整備したのは、愛媛県の松山駅や新居浜駅、香川県の高松駅や琴平駅、徳島県の徳島駅や鳴門駅など各県6駅、計24駅。

各駅の構内や列車内にJRを活用したサイクリング旅を訴求するポスターを掲示し、利用を呼びかけている。

## ■ 比叡山に戦国BASARA列車

比叡山鉄道は4月3日、人気アクションゲーム「戦国BASARA」のラッピン列車の運行を開始した。伝教大師1200年大遠忌記念イベントとして比叡山延暦寺が開催中のスタンプラリーに合わせ、12月26日まで実施する。

運行区間は坂本ケープルの坂本駅から延暦寺駅まで。ケープルカー2両の外装には、戦国BASARAの主人公である伊達政宗と真田幸村が描かれている。内装天井には、それぞれ同シリーズの異なる戦国武将が描かれ、ファンは両方を体験できる楽しみもある。

また、車内案内放送は伊達政宗の声優、中井和哉氏が担当。坂本駅にはフオースポットとして伊達政宗と真田幸村の巨大パネルが設置されている。

## ■ 島原城ガイドに天草四郎

島原観光ビューローはMR（複合現実）技術を活用し、天草四郎がツアーガイドとして現代に蘇る試みを島原城で開始した。MRを使った歴史体験コンテンツ企画の第1弾。

目玉はホログラムによる新しい歴史体験。来城者の祈りによって蘇ったホログラムの天草四郎が、キリスト伝来から島原の乱といった歴史を自らドラマ仕立てでガイドする。天草四郎の声には、「新世紀エヴァンゲリオン」で渚カヲル役の人気声優・石田彰氏を起用。アニメ好き、歴史ファンなど幅広く楽しめるコンテンツを用意した。

また、ハンドトラッキングを活用し、普段触れることのできない踏み絵などの展示物をホログラム化。手に取って鑑賞したり、大きくして細部を見たりできる。幕府軍が天草四郎めがけて迫り来る戦闘シーンを目の前で体験できることも見どころの1つだ。体験料は2200円（入場料は別途大人550円）。

